

2 観光客の動向及びニーズ等実態調査

本計画の策定にあたり、観光客の動向実態及びそのニーズを的確に把握するため、下記の調査を実施しました。

2.1 WEB アンケート調査

計画策定実施に先立ち、民間調査会社等が WEB 上に公開している調査結果を分析したところ、男女が一緒に旅行する際の行き先選定に関して、既婚者はもとより、未婚のカップル間においても、女性が決定権を持つことが多いという分析結果が出ているほか、さらにその傾向は年を追うごとに顕著になっているようです。

また当市では、平成 31 年度に作成した伊予市観光パンフレットの作成にあたっても女性をメインターゲットとするなど、女性目線を意識した観光振興の推進を行ってきたことから、限られた予算及び時間の中でより効率的かつ有効な意見を収集するため、男女無作為ではなく、敢えて女性にターゲットを絞ってアンケート調査を行いました。

2.1.1 WEB アンケートの目的

20～60 歳代の愛媛県来訪者（女性）及び愛媛県在住の大学生（女性）がもつめる観光要素を把握し、ブランディング戦略、プロモーション戦略、観光周遊コース作成に反映させることを目的として実施しました。

2.1.2 WEB アンケート調査の概要

1) アンケート対象者・票数

(1) 一般来訪者アンケート

性 別：女性のみ

年 齢：20～69 歳

地 域：四国 4 県（徳島県、香川県、愛媛県、高知県）

中国 5 県（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）兵庫県、大阪府、京都府

その他：愛媛県来訪者（プライベート）

票 数：1,000 票（伊予市来訪 200 票、愛媛県来訪 800 票）

(2) 大学生アンケート

性 別：女性のみ

地 域：愛媛県内

票 数：60 票

2) アンケート実施日

(1) 一般来訪者アンケート

2020 年 12 月 26 日～2020 年 12 月 28 日

(2) 大学生アンケート

2020 年 12 月 26 日～2021 年 1 月 15 日

3) 設問項目

設問は、一般来訪者、大学生とも同じ設問でアンケートを実施しました。
以下に設問項目を示します。

表 2.1 アンケート設問項目

項目	設問
I. 愛媛県及び伊予市への観光についてお尋ねします	問 1. あなたが愛媛県に来た主な目的（期待したこと）は何ですか。以下のうちあてはまるものすべてをお答えください。 問 2. 伊予市では、以下のような余暇の楽しみ方をお勧めしています。あなたは、以下の楽しみ方に対してどの程度興味がありますか。ご自身の考えに近いものを1つお答えください。 問 3. 伊予市を訪れたことがありますか？また行きたいと思いませんか？あてはまるもの1つをお答えください。
II. 愛媛県伊予市を観光目的で訪れる場合、各シチュエーションで想定する予算についてお尋ねします	問 4. 愛媛県伊予市を観光目的で訪れる場合の1人あたりの宿泊代金（1泊朝食付き）の予算はどの程度ですか。あてはまるもの1つをお答えください。 問 5. 愛媛県伊予市を観光目的で訪れる場合の1人あたりの昼食代金の予算はどの程度ですか。あてはまるもの1つをお答えください。 問 6. 愛媛県伊予市を観光目的で訪れる場合の1人あたりの夕食代金（飲み物代を除く）の予算はどの程度ですか。あてはまるもの1つをお答えください。
III. 自転車を活用した観光についてお尋ねします	問 7. あなたは愛媛県で観光する際に自転車を利用してみたいですか。あてはまるもの1つをお答えください。 問 8. 伊予市で女性にサイクリングを楽しんでいただくために、どのような施設や取り組みがあると良いと考えますか。あてはまるもの3つまでお答えください。
IV. あなたご自身についてお尋ねします	問 9. 余暇・レジャーで関心のあるテーマについてお伺いします。あなたは、以下の余暇・レジャーに対してどの程度関心がありますか。ご自身の考えに近いものを1つお答えください。 問 10. 外出、旅行への考え方についてお伺いします。ご自身の考えに近いものを1つお答えください。 問 11. 旅行に行く際の同伴者についてお伺いします。あてはまるものすべてをお答えください。 問 12. 伊予市へ行く場合の交通手段についてお伺いします。あてはまるものすべてをお答えください。
基礎情報	年齢 居住地

4) 調査分析の方法

一般来訪者及び大学生でのニーズの違いを分析しました。

クロス集計は、年齢別、地域別、来訪者別（伊予市又は愛媛県来訪者）、行動志向別で検討を行い、全体と比較した動向を取りまとめます。ただし、実数が10以下のものについては明記しません。

行動志向については、「問10. 外出、旅行への考え方についてお伺いします。ご自身の考えに近いものを1つお答えください。」という問いに対して因子分析を実施し、「パッシブ行動型（受動的行動）」「情報収集型」「情報発信型」「アクティブ行動型」の4分類に集計し直したデータをもとに分析を行いました。

表 2.2 アンケート設問項目(Q10)に対する集計用分類

	パッシブ 行動型	情報収集 型	情報発信 型	アクティ ブ行動型	共通性
4. 自発的に出かけないが、知人・友人に誘われれば、レジャー施設やお店、イベントに出かける	0.984	0.098	0.125	0.077	1
1. 新しい施設・スポットやお店、イベントについての情報を見たり、調べたりする	0.116	0.918	0.246	0.288	1
3. 友人や家族、周辺の人たちにレジャー施設やお店、イベントなどの情報を紹介する	0.155	0.254	0.905	0.303	1
2. 時間があれば新しい施設・スポットやお店、イベントなどにフットワーク軽く出かける	0.092	0.308	0.313	0.894	1

因子抽出法：最尤法（さいゆうほう）

回転法：Kaiser の正規化を伴うバリマックス法

「問2. 伊予市では、以下のような余暇の楽しみ方をお勧めしています。あなたは、以下の楽しみ方に対してどの程度興味がありますか。」では、「とても興味がある」「やや興味がある」の合計値を興味度として分析を行いました。

「問9. 余暇・レジャーで関心のあるテーマについてお伺いします。あなたは、以下の余暇・レジャーに対してどの程度関心がありますか。」では、「とても関心がある」「やや関心がある」の合計値を関心度として分析を行いました。



下灘駅から伊予灘を望む（双海町串）

2.1.3 調査結果概要

調査結果概要を以下に示します。

表 2.3 アンケート調査結果概要

設問	概要
問 1. 愛媛県に来た主な目的（期待したこと）	●一般来訪者の愛媛県への来訪目的は、温泉、食事が約 6 割 ●大学生の愛媛県への来訪目的は、食事が約 9 割と突出、夕日などの美しい景観が約 7 割 ●一般来訪者、大学生ともに「海・山などの自然」は高い ●20 代で「海・山などの自然」「食事」「ゆったりできる宿」、30 代で「食事」、50 代で「歴史的なまち並み散策」、60 代で「夕日などの美しい景観」「温泉」「芸術・文化」が全体と比較して高い ●四国圏で「イベント」「買い物」が全体と比較して大幅に高い ●一般来訪者の情報発信型で「温泉」、パッシブ行動型で「海・山などの自然」「夕日などの美しい景観」「歴史的なまち並み散策」が全体と比較して高い
問 2. 伊予市での余暇の楽しみ方	●一般来訪者の伊予市の楽しみ方への興味度は、「12. リラックスできる場所での癒し体験」「16. 歴史的まち並みを散策」「15. 産直市で旬の野菜・果物等を購入」が約 7 割 ●大学生では、「3. おしゃれなカフェやおいしいランチのお店を巡る」「2. JR 下灘駅で夕陽の観賞」「4. 隠れ家的なおしゃれなお店を探索」「12. リラックスできる場所での癒し体験」が高い ●「1. 自然の中で SNS 映えする写真を撮影」「2. JR 下灘駅で夕陽の観賞」「3. おしゃれなカフェやおいしいランチのお店を巡る」「8. 季節の花や景色を写真に撮る」は 20 代で高い ●「4. 隠れ家的なおしゃれなお店を探索」「9. 子ども連れで楽しめる公園で遊ぶ」「11. キャンプ、デイキャンプ、ピクニック」は 20、30 代で高い ●「5. レンタルサイクルでゆっくりのんびり景色を楽しむ」「6. JR、伊予鉄道に自転車を載せて、景色の良いところを厳選してサイクリング」「19. 鉄道関連の写真撮影スポットを巡る」は近畿圏で高い ●「16. 歴史的まち並みを散策」は 50 代、60 代で高い ●「18. JR、伊予鉄の沿線を巡る」は 60 代、近畿圏で高い
問 3. 伊予市への来訪意向	●伊予市への来訪意向は、一般来訪者は約 8 割、大学生は約 9 割 ●四国圏の方のリピーターが多い ●愛媛県へ来訪したことのある方は、次回以降伊予市に来訪したい意向が高い
問 4. 伊予市を観光目的で訪れる場合の 1 人あたりの宿泊代金	●一般来訪者の宿泊代金は「10,001 円以上」「7,001 円～8,000 円」が約 2 割、大学生では「4,001 円～5,000 円」が約 4 割、「5,001 円～6,000 円」が約 3 割で一般来訪者の方が高い傾向 ●「10,001 円以上」は 50 代、60 代で高い傾向
問 5. 1 人あたりの昼食代金	●一般来訪者の昼食代金は、「1,001 円～1,500 円」が約 50%で突出しており、次いで「1,501 円～2,000 円」が約 2 割、大学生では、「1,001 円～1,500 円」が 7 割で突出
問 6. 1 人あたりの夕食代金	●一般来訪者の夕食代金は、「2,001 円～3,000 円」が約 3 割、大学生で 4 割
問 7. 愛媛県で観光する際の自転車利用動向	●一般来訪者及び大学生の観光をする際の自転車の利用意向は約 5 割 ●20 代、近畿圏で利用意向が高い

設問	概要
問 8. 伊予市でサイクリングを楽しんでもらうための施設や取り組み	●一般来訪者では「おすすめのランチやおしゃれなカフェの情報提供」「電動アシスト付のレンタサイクルの導入」が約4割、大学生では、「おすすめのランチやおしゃれなカフェの情報提供」が約8割で突出 ●20代で「おすすめのランチやおしゃれなカフェの情報提供」、60代では「安全・快適にサイクリングできる道路環境の整備」の要望が高い
問 9. 余暇・レジャーで関心のあるテーマ	●一般来訪者の関心のある余暇・レジャーは、アクティブな活動や地域の人とのふれあいではなく、食事や自然への関心が高く、心身のリフレッシュを求めている ●大学生では、美味しい食事、友人や家族などとの時間、新たな体験を求めている ●一般来訪者、大学生ともに美味しい食事への関心が高い ●「1. スケールの大きな自然を体感したい」「11. 現地の歴史や伝統についてよく知りたい」「20. 列車に乗ったり、鉄道車両の写真を撮ったりしたい」は近畿圏で高い ●「5. きれいな写真を撮って SNS に投稿したい」「6. 経験したことのない、新たな体験をしたい」は20代30代で高い ●「8. 自然の中でアウトドア活動を楽しみたい」「13. 工芸品などの創作体験を楽しみたい」「14. スポーツで汗を流したい」「21. 祭りやイベントに参加したい」「22. ドキドキするような興奮を感じたい」「23. 自分が成長できるような経験がしたい」「24. 自分自身を見つめなおしたい」「25. 価値観や人生観を変えるきっかけにしたい」は20代で高い ●「15. 日頃の生活でたまったストレスを解消したい」は20代40代で高い ●「11. 現地の歴史や伝統についてよく知りたい」「17. 美術館や博物館で芸術品を見てまわりたい」は50代60代で高い ●「12. 職人や芸術家の作品・商品を見てまわりたい」は60代で高い ●「19. 有名な遺跡や建築物を見てまわりたい」は50代で高い
問 10. 外出、旅行への考え方	●一般来訪者、大学生とも「1. 新しい施設・スポットやお店、イベントについての情報を見たり、調べたりする」が最も多い
問 11. 旅行に行く際の同伴者	●一般来訪者の旅行に行く際の同伴者は、「家族」「夫婦」「友人・知人」、大学生では「友人・知人」が突出
問 12. 伊予市へ行く場合の交通手段	●一般来訪者、大学生ともに「自家用車」が突出、次いで「鉄道」が利用 ●高齢者、近畿圏で「鉄道」の利用が高い

※詳細な調査結果については「資料編」に掲載しています。

2.2 位置情報を活用した観光客の周遊行動分析

ソーシャルメディアマーケティング会社等による携帯電話からの発信電波を基に分析した位置情報データを取得し、観光客の周遊行動を居住地別に整理分析しました。

位置情報を活用した観光客の周遊行動分析

3 結果を踏まえた考察

県内外	・伊予市を訪れる観光客は県内が約6割、県外が約4割
宿泊状況	・観光客の約半数が宿泊であるが、市内での宿泊は宿泊客の約半数しかなく、半数は市外での宿泊 【県内】県内客の約7割が日帰り、約3割の宿泊のうち、市外が約2割 【県外】県外客の約8割が宿泊で、そのうち約3割が市外での宿泊 ⇒伊予市を訪れる観光客の一部は市外での宿泊となっており、宿泊の取り込みが課題
滞在状況	・観光客の伊予市内の観光地・施設の滞在箇所数は1箇所が約7割、2箇所が約2割と滞在する観光地・施設は少ない ・JR下灘駅「ふたみシーサイド公園」JR伊予市駅周辺「伊予灘SA」での滞在が多い。 ⇒上記以外に滞在を促すための観光地・施設の魅力向上が課題 ・市外から訪れる観光客の最初の滞在地・施設は「JR下灘駅」「ふたみシーサイド公園」「JR伊予市駅周辺」「伊予灘SA」が多い 【県内】県内客の最初の滞在地・施設は「ふたみシーサイド公園」「JR伊予市駅周辺」「伊予灘SA」が多く、県外と異なり、「JR下灘駅」が少なく ⇒JR下灘駅は県内には認知され、一定来訪されている可能性があるため、次の目玉の観光地・施設の発掘が課題 【県外】県外客の滞在箇所数は1箇所が約9割と滞在する観光地・施設は少なく、滞在する観光地・施設に限られる傾向にあり（「JR下灘駅」「ふたみシーサイド公園」「JR伊予市駅周辺」「伊予灘SA」）、最初の滞在地・施設は「JR下灘駅」「伊予灘SA」が多い ⇒伊予灘SAは、高速道路利用時の滞在と考えられ、県外客に魅力がある観光地・施設はJR下灘駅しかないため、他に目玉となる観光地・施設の発掘が課題
周遊状況	・観光地・施設間の流動は、地区内での流動は見られるものの、地区を跨ぐ流動は少ない 【県内】観光地・施設間の流動は地区内で見られるが少ない 【県外】観光地・施設間の流動はほとんど見られない ⇒地区を跨ぐ移動を促すような観光地・施設間の魅力づくり、仕掛け、モビリティが課題
コロナの影響	・伊予市を訪れる観光客は減少 ・県内・県外の割合は、県内客が約1割増加 ・屋外の観光地・施設で滞在時間が延びる傾向 ・GoToトラベルにより、JR伊予市駅周辺での宿泊が増加している可能性があり、宿泊施設を起点とした周遊が見られる。

観光客の周遊行動を踏まえた「県内客」に対する対応の方向性

【日帰り客】

・伊予市での滞在時間が限られていることから、各地区内の拠点となる観光地・施設を起点として、各地区内で周遊したくなる観光地・施設間の魅力づくり、仕掛け、モビリティが必要

【宿泊客】

・市内での宿泊より、市外での宿泊が多いことから、現状集客できている観光地・施設以外の魅力向上等により、行ってみたい観光地を増やすことで伊予市が宿泊先に選ばれるようにすることが必要
・上記と併せて、宿泊により伊予市での滞在時間が延びる分だけ楽しめるように、各地区内での周遊だけでなく、地区外との周遊を促すような観光地・施設間の魅力づくり、仕掛け、モビリティが必要

※コロナの影響を踏まえて、屋外の観光地・施設の魅力を再確認が必要

コロナ禍を踏まえ県内客が多いことから第1段階として県内客をターゲットに観光客を増やし、アフターコロナとともに県内客に人気がある伊予市として県外にPRしていくことが有効

観光客の周遊行動を踏まえた「県外客」に対する対応の方向性

【日帰り客】

・JR下灘駅を起点とした双海地区で楽しめる仕掛け・モビリティが必要
※母数が少ないことから積極的に対策はしない方向

【宿泊客】

・JR下灘駅以外で認知されている観光地・施設がないことから、まずは、目玉となる観光地・施設の発掘、磨き上げが必要
・市外での宿泊が一定数いることから、上記と併せて、地区外との周遊を促すような観光地・施設間の魅力づくり、仕掛け、モビリティを確保し、必要な滞在時間を増やすことにより、伊予市が宿泊先に選ばれるようにすることが必要

※滞在が多い「伊予灘SA」から伊予市内を観光できる取組みの検討

位置情報を活用した観光客の周遊行動分析

1 分析の目的

ソーシャルメディアマーケティング会社等による位置情報データにより、観光客の周遊行動を居住地別に整理分析する。

2 位置情報データ概要

①活用データ

■株式会社Agoopのポイント型流動人口データ

AgoopのSDKを搭載したスマートフォンのアプリから収集した位置情報等データであり、情報収集と第三者提供を許諾したユーザーのデータのみ収集し、秘匿化処理を施したデータである。

【対象アプリ数（2020年1月時点）】36アプリ

【国内の月間ユニークユーザー数（2020年1月時点）】1,573千UU



②対象期間

・コロナ前後の影響を把握するため、対象期間は以下とした。

【コロナ前（2019年9月）】	【コロナ後（2020年9月）】
・9月6～8日（3日）	・9月4～6日（3日）
・9月13～16日（4日）	・9月11～13日（3日）
・9月20～23日（4日）	・9月18～22日（5日）
・9月27～29日（3日）	・9月25～27日（3日）
計14日	計14日

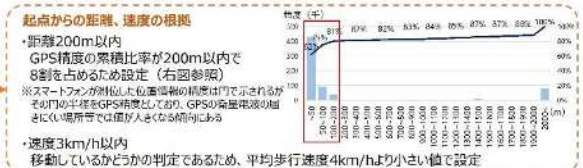
③データの特徴

- ・位置情報（GPS）データのため、移動状況はわかるが目的はわからない。
- ・ある位置情報でそこで滞在しているかどうかはわからない（別途判定が必要）。
- ・1日ごとの個人ID（デイルーID）であるため、ある人の2日以上にまたがった移動状況の把握はできない（例えば、1日目に宿泊した人が2日目にどこに行くか等を把握することはできない）。

④観光客の抽出方法

■滞在判定

GPSの精度により、移動していないものの位置座標が変わる場合があるため、起点からの距離が200m以内かつ速度3km/h以内である場合は同一点（移動していない）と判断し、同一点の累積時間が15分以上のものを「滞在」と判定する。



■観光目的判定

- ・観光エリアに1箇所も滞在していない場合、観光目的以外と判定
- ・観光エリア1箇所あたり7時間以上滞在している場合、観光目的以外と判定
- ・観光エリアに1箇所のみ滞在しているが、出発地が松山園域である場合、観光目的以外と判定
松山園域・・・伊予市、松山市、東温市、久万高原町、松前町、砥部町

※詳細な調査結果については「資料編」に掲載しています。

2.3 旅行情報サイト、飲食店情報サイト等の口コミ分析

旅行情報サイト、飲食店情報サイトより取得した口コミの投稿を用いて、観光施設毎の特徴（強み）を把握しました。

伊予市内観光施設の口コミ分析 - 共起ネットワーク -

1 分析の概要

投稿内容を基に出現する言葉のパターンの似通った語（共起）の強い語を線で結んだ図を用いて分析する。
観光施設と共起する語より、結びつきの有無の視点で施設が利用者から求められている役割を把握し、使われ方と施設の取り組みとの不一致を把握し、対策の提案に繋げる。

2 口コミデータ概要

① 分析対象

■ じゃらん記載の観光施設

伊予市のじゃらんページ内の観光施設でデータがあったもの。
（近隣施設や同一施設の口コミをある程度まとめて集計している。）

例）
・ふたみシーサイド公園 ← 道の駅ふたみ、パラグライダー 等
・クラフトの里 ← そば道場こねこね亭、道の駅なかやま、パン工房モンター 等

② データ元

■ 観光施設・飲食施設

・じゃらん
・トリップアドバイザー
・食べログ

飲食施設情報の利用は観光施設に近接、一体の施設について、同一の観光施設の口コミとして統合
例）JR下灘駅 ← 下灘珈琲

③ データの整理

口コミ内から以下の内容を含む口コミ削除または修正する。

・不可解な日本語。
・絵文字、顔文字、特殊文字
・URL

3 共起ネットワークの種類

① 対象間の繋がりの把握

A 観光施設と飲食店の口コミ 施設と語

・観光施設と飲食店の間の繋がりが把握可能
⇒ 飲食店は食べ物名との繋がりが多く、ただの飲食の口コミとなっていることから、観光施設に取って代わるものかどうか見出すことは困難

B 観光施設のみのお口コミ 施設と語

・伊予市内の観光施設の相対的な立ち位置が把握可能。
・施設同士がどの要素を共有しているか確認することで、施設毎の類似点を把握可能。

C 観光施設のみのお口コミ 語と語

・伊予市内のニーズがあると考えられる観光コンテンツが可視化され、観光施策のコンセプト等の決定に役立つ。

D 飲食店のみのお口コミ 施設と語

・多くの施設と共有する語（食べ物）は特産品や伊予市のグルメとして売り出せる可能性を秘めている。

② 個別施設の強みの把握

E 特定の観光施設のみ すべての口コミ 語と語

・サンプル数が少ない場合でも施設の特徴となる語が把握可能。

F 特定の観光施設のみ ポジティブな口コミ 語と語

・一定のサンプル数は必要だが、観光施設の強みの把握に最適。

**2つの共起ネットワークを用いて
観光施設の強みを個別に把握する**

語と語について

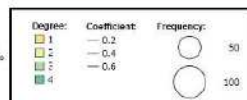
言葉と言葉がどのようなつながりで文中に出てきたのかを最も結びつきの強い線のみを残し図化したネットワーク図。
（出現数が多いものから表示）

伊予市内観光施設の口コミ分析 - 共起ネットワーク -

4 共起ネットワーク図の見方

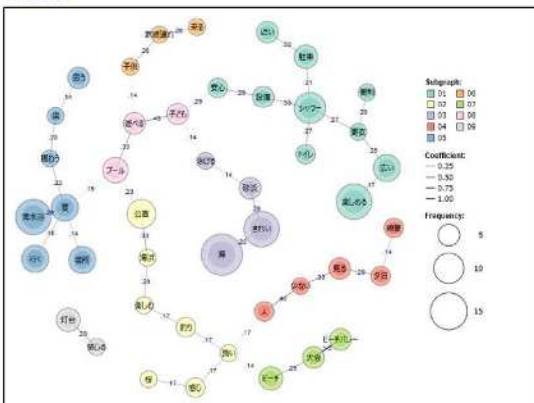
「色」：観光施設との結びついている数を表す。
「線の太さ」：語の結びつきの強さを表す。
「円の大きさ」：その語の出現回数を表す。

※線の太さについて（Jaccard係数）
計算式 $\frac{\text{語aと語bが同時に出現した数}}{\text{語aもしくは語bのいずれかだけでも出現した数}}$



5 結果の見方

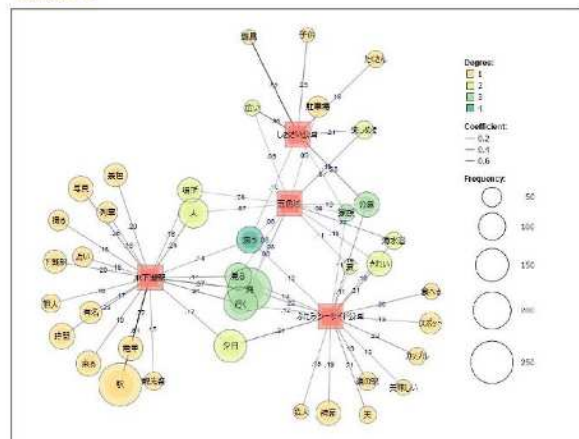
① 語と語



語と語の繋がりから施設の特徴を見る。

1. つながりのある語を確認。→ つながっている語と語は同じ口コミ内で使用されている。
2. 線の濃い言葉を確認。→ 語と語が似た内容で使われている。
3. つながりのある語と語をまとめて確認。→ 口コミの内容（施設の特徴）を想像。

② 施設と語



観光施設の特徴を見る。

1. 観光施設から伸びている線のある言葉を確認。→ その施設に関連性のある言葉。
2. 線の濃い言葉を確認。→ その施設と結びつきが強い言葉。
3. 黄色の語を確認。→ 他の施設とは共有していない言葉。（他の施設は結びつきが弱い）

例「しおさい公園」に着目すると

■ 結びつきがある

・「子供」「家族」「遊ぶ」との結びつきが見えることから家族連れでの利用が目的となっていることが伺える。
・「子供」「遊ぶ」はしおさい公園のみに結びつきがあることからの強みと考えられる。

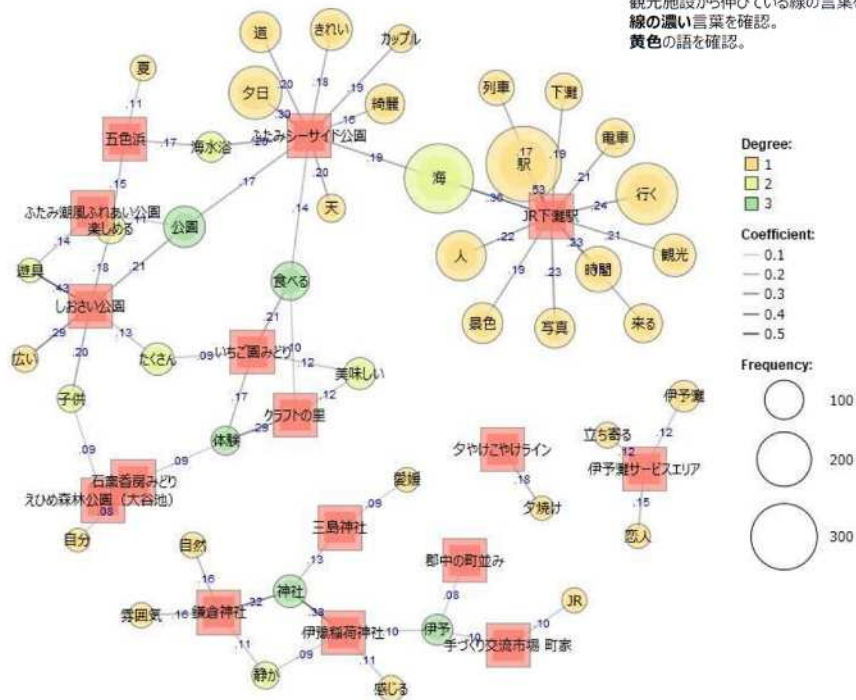
■ 結びつきがない

・「運動」「スポーツ」などしおさい公園の充実した運動施設の利用が目的となっていないことが伺える。

伊予市内観光施設の口コミ分析 - 共起ネットワーク -

伊予市まるごとおもてなしプラン作成業務

② 観光施設のみ口コミ 施設と語(B)



「JR下灘駅」に着目

- 関連する口コミ数が多い
・「海」「駅」との関連性が高い。
- 独立している
・海以外の語はすべて他の観光施設と共有しておらずの差別化が出来る。
- ⇒伊予市の中で単体で集客できる観光地

「神社」に着目

- 鎌倉神社
・「自然」「雰囲気」「静か」が強い
- 伊豫稲荷神社
・「伊予」「感じる」「静か」が強い
⇒神社によって類似している部分もあれば強みが異なる(個別の具体的な内容は後述)

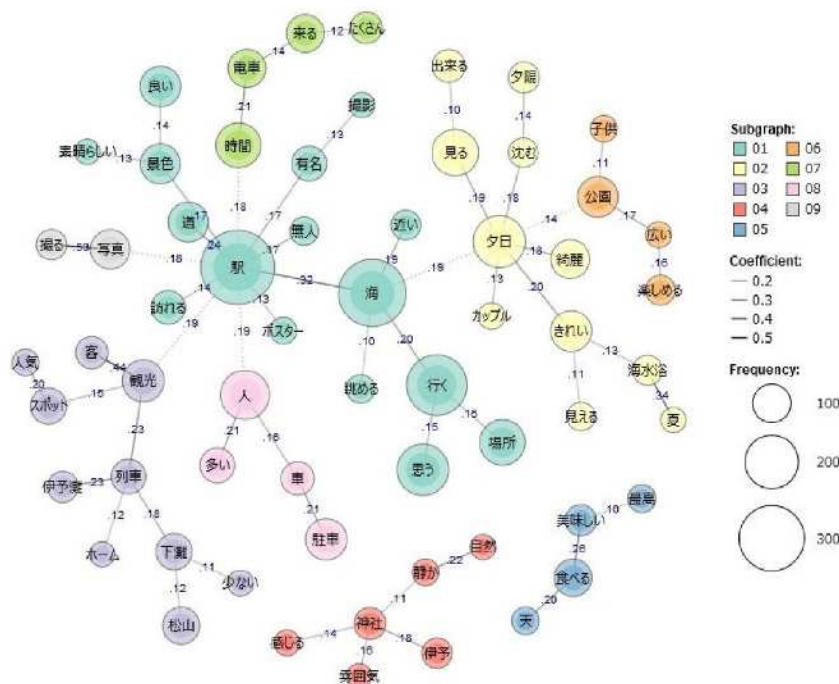
「公園」に着目

- ふたみシーサイド公園
・多くの語と繋がりがあり「海」「夕日」等の出現頻度の多い語と繋がっている。
⇒JR下灘に次ぐ主要な観光地といえる。
- しおさい公園
・ふたみシーサイド公園と異なり、「広い」「子供」「楽しめる」「遊具」と繋がっている。
⇒ふたみシーサイド公園よりも子供が楽しめる場所として利用されている。

6

伊予市内観光施設の口コミ分析 - 共起ネットワーク -

③ 観光施設のみ口コミ 語と語(C)



「自然」「静か」「伊予」「神社」「雰囲気」「感じる」の繋がり

「公園」「広い」「楽しめる」「子供」の繋がり

「天」「美味しい」「食べる」「最高」の繋がり

「写真」「撮る」対象は「駅」?

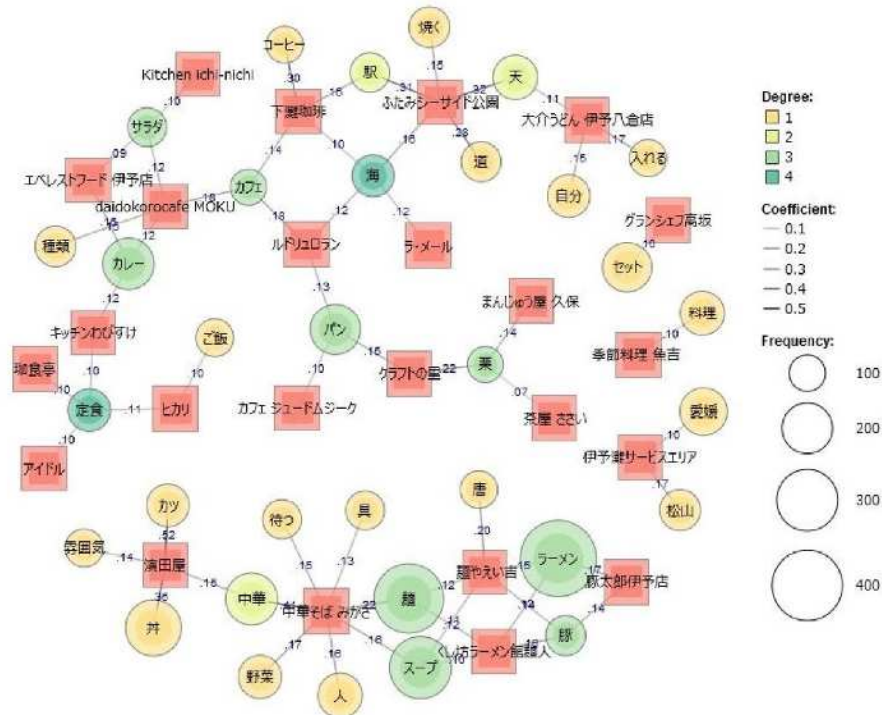
「夕日」「綺麗」「沈む」「見る」「カップル」の繋がり

伊予市の観光施設の特徴間の繋がりが確認できる。

キーワードが増えたことで、利用者層が一部キーワードとして可視化された。

伊予市内観光施設の口コミ分析 - 共起ネットワーク -

④飲食店のみ口コミ 施設と語(D)



■ サンプル数が多いのは「ラーメン」「麺」「スープ」「豚」「中華」をつないだ飲食店のグループ

■ 独自路線「季節料理 魚吉」「伊予灘サービスエリア」「グランシェフ高坂」は独立している。

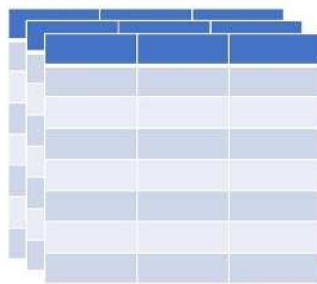
■ 共有している飲食物「カレー」「葉」「パン」「ケーキ」「天」「ラーメン」

町の魅力になる可能性がある。

分析の流れ

伊予市より提供頂いた観光施設の強みと共起ネットワークを比較し観光施設毎の特徴を把握

■各観光施設の 口コミ数



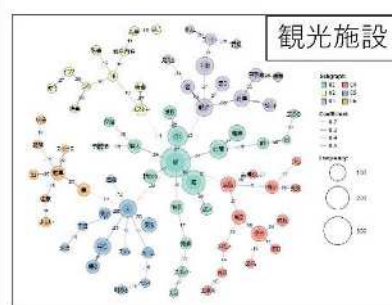
口コミが
少ない施設
(20件以下)



口コミが多い施設

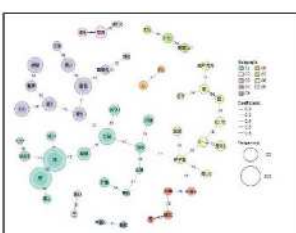


■すべての口コミで作成



口コミ数が少ない為、すべての口コミを用いて強みを把握する。

■ポジティブな口コミのみで作成



口コミが十分にある為、ポジティブな投稿のみを用いて強みを把握する。

■各施設の特徴（強み）の把握

・ネットワークからわかる特徴（強み）と伊予市提供の強みを比較



観光施設の特徴把握

■作成する観光施設の共起ネットワーク図（16個）

※黄色はデータ不足により分析不可
※緑色は文章数、語数が少なく考察困難

ID	観光施設グループ	内包する施設等（統合する施設や機能）	口コミ件数	文章数
1	JR下灘駅	JR下灘駅、下灘珈琲	342	1,437
2	ふたみシーサイド公園	ふたみシーサイド公園、道の駅 ふたみ、パラグライダー、海水浴	225	1,219
3	しおさい公園	しおさい公園	47	137
4	五色浜	五色浜、五色姫海浜公園、五色浜公園、萬安港旧灯台、郡中港	49	164
5	クラフトの里	クラフトの里、そば道場こねこね亭、パン工房モンタナ、道の駅なかやまウッドクラフトセンター、クラフトの里木工体験、そば打ち体験道場、観光農園ビューファーム	59	348
6	ふたみ潮風ふれあい公園	ふたみ潮風ふれあい公園、八景山展望台	21	60
7	栗の里公園と花の森ホテル	花の森ホテル、レストラン風花（ブーケ）、なかやまフラワーハウス、グリザードフラワー体験、野外音楽広場、鹿牧場	26	128
8	タヤけこやけライン	タヤけこやけライン	10	27
9	えひめ森林公園（大谷池）	えひめ森林公園、大谷池	10	31
10	薬皇山森林公園	薬皇山、薬皇山森林公園	7	35
11	盛景寺（菩提樹）	成景寺、菩提樹	4	18
12	谷上山	谷上山、宝珠寺	8	18
13	伊豫岡八幡神社	伊予岡古墳、伊豫岡八幡神社	3	8
14	伊豫稲荷神社	伊豫稲荷神社	28	83
15	伊予灘サービスエリア	伊予灘サービスエリア 上り、下り	87	527
16	鎌倉神社	鎌倉神社、称名寺、福田寺	26	67
17	三島神社	三島神社	14	39
18	山吹神社		0	0
19	永田三島神社		0	0
20	伊予神社		0	0
21	中山町、双海町の堂		0	0

まとめ

ID	観光施設グループ	現在の強み	認知されていない強み	新たな強み
1	JR下灘駅	写真映える景色、綺麗な夕日、眼前に広がる瀬戸内海		青い空、おいしいコーヒー
2	ふたみシーサイド公園	恋人の聖地、ドライブスポット（休憩）、綺麗な夕日、海水浴、綺麗な海		焼いたイカ、じゃこ天
3	しおさい公園	大きな複合遊具、芝生広場 ママ友とおでかけ、青メンにおすすめ	スポーツ施設全般 （テニス、野球、サッカー、バスケットボール、体育館等）	花見、敷地が広い、沢山の駐車スペース
4	五色浜	海水浴、泳げるキレイな砂浜、灯台から歴史を感じる、海釣りを楽しむ	いもたき、平家の姫様の伝説、彩旗館	シャワーや更衣室等設備が充実、子供が遊べるプール、ビーチバレー大会、夕日がきれいだが人が少ない
5	クラフトの里	そば打ち体験、焼き立てパン、いちご狩り	お土産、新鮮な野菜や果物、中山栗、シャーベット	甘いイチゴ大福、綺麗な建物
6	ふたみ潮風ふれあい公園	遊具で遊ぶ、瀬戸内海の眺望	キャンプ場、宿泊ロッジ、テニス	夕日の観光スポット、広々とした自然に囲まれた公園
7	栗の里公園と花の森ホテル	森林地域のホテル、フレンチランチ、オーベルジュ、食事、珍しい花や木	グリザードフラワー体験、栗まつり、鹿と触れあう、花束・花苗購入、	財布に優しい
14	伊豫稲荷神社	格式ある神社、歴史を感じる神社、見応えある立派な楼門、大きい鳥居		自然に心が落ち着く、人がおらず静かにお参り
15	伊予灘サービスエリア	恋人の聖地	松山平野を一望	ご当地ソフト、きれいな夕日を眺める、どぶろくプリン、カップルが多い、小魚を使った醤油ラーメン
16	鎌倉神社	夏目漱石・正岡子規の句碑	水琴窟、見事な屏風絵	神社の雰囲気が神秘的で落ち着く、木々に囲まれた静かな自然、緑豊かな、神聖な空気、歴史をたくさん感じる、良好なアクセス、人がおらず趣がある
17	三島神社（高岸）	珍しい狛犬	境内から瀬戸内海の景色を眺める	長く立派な石段、彫刻造りの門、境内に並ぶ紅葉、ドライブで立ち寄る、自然の中で静かな時間、歴史を感じる

※詳細な調査結果については「資料編」に掲載しています。